

回生 ニュース

社会医療法人 峰和会

K a i s e i N e w s

77号

2014.7月発行

発行/社会医療法人 峰和会
 編集/鈴鹿回生病院
 所在地/鈴鹿市国府町112番地1
 TEL/059-375-1212
 FAX/059-375-1717
 URL/http://www.kaiseihp.com
 編集協力/TCKnagoya

- 1 医療の現場から
「外来部門紹介」
- 2 あなたの街のお医者さん
「別府内科クリニック」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・パートナーストレッチング~PART1~
・ジェノベーゼ風バケット
- 6 回生.com
「初期臨床研修医5名紹介」
- 7 Information

ほっと smile 他

夏祭り 開催いたします!

SUZUKA KAISEI HOSPITAL SUMMER FESTIVAL 2014

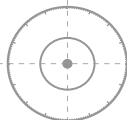
今年も夏祭りを開催いたします。ミニコンサート、三味線演奏、バザー、レクリエーション、カラオケ、健康相談など楽しい催しを企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。ぜひお越しください。

日時 平成26年8月9日(土) 14:00~

場所 病院1階総合受付前



外来部門

紹介!
introduction

救急外来、検査部門、処置室、化学療法室、腎臓センターを担当します。病院の最初の窓口として、患者さんの抱える不安に配慮しながら迅速で的確な判断と対応を心がけ、患者さんに安心して安全な診察を受けていただけるように努めています。

特長

当外来部門は、救急外来、放射線科、内視鏡室、腎臓センター、特殊外来のユニットになっています。市の救急本部とのホットラインによる救急患者の受け入れから、夜間の緊急検査対応、外来化学療法の看護、外来診察介助など、患者さんと接する場面はさまざまです。



課長 岡田 直子

体制

看護師32名（内男性看護師7名）看護助手2名が各セクションにわかれ勤務しています。担当科はある程度決まっていますが、サポート体制（忙しい時の協力体制）をとり業務の効率化を図っています。

役割

大きな役割のひとつは、ベッドコントロールです。患者さんが入院しなければならない時、どの病棟に入院していただくか、他院からの紹介の患者さんはどの病棟に入院すべきか等、病棟と連携をしています。転院の患者さんもお受けしますので、症状を聞き、ご希望に添える体制で入院していただくよう心がけています。

看護部の理念は「人にやさしく信頼される看護を目指します」と掲げています。患者さんにはみんなで声かけをし、また「この病院にかかりたい」「選んで良かった」と思ってもらえるよう、優しい看護をめざしています。外来は病院の



窓口です。来院された患者さんが、5分で良い病院であるか否か、決めてしまうといっても過言ではありません。エンカウンターとしての役割を果たしていきたいと考えております。

■ 外来部門の
■ こんないいところ!

当科は比較的男性看護師の数が多く、彼らが活躍してくれています。女性よりも気配りができて、良く気がつくんです（笑）。もうひとつは、スタッフのモチベーションの高いところですね。当スタッフはとても勉強熱心です。例えば市民講座に出向いたり、アンギオ治療を見学したり、「がん患者さんにも適切な対応ができるようになりたい」「相談にきちんと答えられるようになりたい」といったように意識が高いため、指示をしなくても自ら勉強会に出向きます。そし

て勉強会に参加したメンバーからの伝達講習も行っています。そのおかげで、当科には、救急救命士、呼吸療法認定士、ACLSインストラクター、ISLSインストラクター、ICLSインストラクター、消化器内視鏡技師、自己血輸血看護師、臨床輸血認定看護師など、資格を持った看護師が活躍しています。今後は化学療法認定看護師を育成していきたいと思っています。

■ 患者さんに伝えたいこと

患者さんはもとより、スタッフにおいても居心地のよい病院・職場にしたいと思っています。私は「職場は家族」だと思っており、私たちが幸せじゃないと、患者さんにも良い看護の提供はできないと思っています。患者さんに質の高い看護を提供できるよう、私たちが日々努力しております。どんなことでも、気軽に声をかけていただき、相談してください。そして安心して病院にお越しいただければ幸いです。

連携医療機関紹介

別府内科クリニック



▲ 院長の別府 徹也先生

平成25年10月院長が変わりました。
別府内科クリニックは近鉄磯山駅の程近くにあります。昭和55年にお父様である別府 恒先生が開業されたクリニックは、平成25年にリニューアルされご子息である徹也さんが継承されました。



院長の別府徹也先生は平成13年に三重大学第一内科に入局し、大学病院、山本総合病院にて内科全般を研修し、その後、県立志摩病院、大学病院、上野市民病院、松阪中央総合病院などの医療機関にて、主に消化器肝臓内科を専門に勤務医をご経験後、平成25年10月に院長として継承されました。リニューアルを機に、大腸カメラ、経鼻内視鏡、エコーなどを導入。現在、徹也先生、恒先生を筆頭に看護師2名、事務4名 8人体制で診療しています。

医師を目指したきっかけ

「きっかけといえばお世話になった人が認知症になったことですね。当時はその方が誰かと話をする場所がなかったんですね。街にそんな人達が集まれる場所があって

もいいんじゃないか。いつか医師となり、そんな病院を作れたら、とは考えていたように思います」。勤務医を辞めて、このクリニックを継承するに至ったきっかけを伺うと「もう体力の限界や、クリニックを閉めようと思う」と恒先生から連絡が来たこととおっしゃいます。当時は、日々の診療にやりがいを感じておられ、勤務医として脂の乗った時期でした。しかし「開業34年が経過し、父も70を過ぎました。そろそろ楽をさせてあげたい、そして、父と一緒に診療できる時間はどのくらいあるのか?と考えると、今しかない、との結論に至りました。実際、戻ってきたら、元気だったんですけど(笑)」。と笑顔で話されます。そんな先生も医者というルールに乗りたくない時期もあったのだとか。「父と会話をしない時期もありました。しかし、今だから言えることですが、医師になって良かったと思います。私自身、人とふれあうことが好きなんです。色々な人と出会い、話を聞き、悩んでいることを解決するお手伝いができるのは、いい仕事だと思います。話をするのは私の武器でもあります。ただ時間をかけすぎて、ご迷惑をかけることもあります」。

患者さんへのメッセージ

「今までは、紹介される側でしたが、今度は紹介する側になりました。紹介した患者さんは戻ってきてくださるので、最初から最後まで、診ることができます。勤務医でいる時よりも関係が深くなりますね。家族のような感じです」。そのお言葉は、徹也先生ご自身のお言葉ですが、11年前の取材の時も恒先生が同じ事をおっしゃっていたとお伝えすると「知らないうちに親の背中をみていたんですかね・・・」と目を細められます。
そんな先生に患者さんへのメッセージを伺いました。
～父は、長年診療してきていますので、ファンが多いんです。父じゃないとだめ、という患者さんも多くみえます。そんな

DATA

TEL 059-386-1117

住所

鈴鹿市東磯山三丁目19-25

診療科目

●内科 ●消化器内科 ●肝臓内科
●小児科

診療時間

午前 / 9時00分～12時00分
午後 / 3時00分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



時、自分に何ができるか?と考えたら、自分の診療方針である『話を聞く』ということでした。父じゃなきやだめだとおっしゃる患者さんにも納得していただけるまで説明をし、最近では「どっちでもええよ」とおっしゃっていただけるようになりました。これからも患者さんには何でも相談してほしいですね。そして帰られる時には、晴れ晴れした顔をして帰っていただきたいと思っています。患者さんが笑顔になって満足していただける診療をこころがけて参ります。～
この地域の集会場のようなクリニックの院長として、今後のご活躍を期待しています。



別府 恒先生

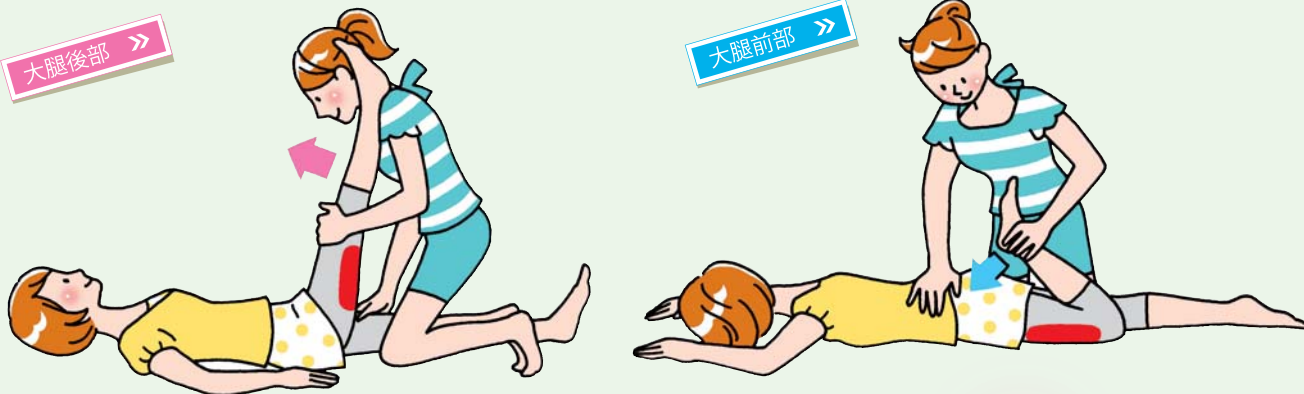


パートナーストレッチング PART 1



リハビリテーション課
理学療法士
稲谷則徒

運動不足が重なると、筋肉は硬く縮んだ状態になり、その結果、筋肉内の血液循環が悪くなって腰痛や肩こりなどが起こりがちです。筋肉のこりを解消したい場合のストレッチングとしては、1人で行うセルフストレッチングよりも、2人で行うパートナーストレッチングの方が、より筋肉の伸展効果が得られることでお勧めです。



- 特 徴**
- ① 1人では十分に強く伸ばしきれない筋肉をストレッチしたい
 - ② 1人では部分に伸ばしきれない方向へ筋肉をストレッチしたい
 - ③ 筋肉の力を抜いた状態でストレッチすることでさらにリラックスしたい
 - ④ パートナー相互のコミュニケーションをはかりたい

- Caution**
- 我慢や無理をしない
 - 息を止めない
 - 反動や弾みをつけない

発信@

栄養管理室

管理栄養士
岡本 弘平

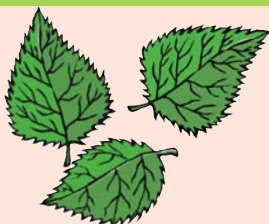


ピックアップ 食材 大葉

●大葉

大葉は1年中出回っていますが、6~9月が旬の食材です。大葉に多く含まれるβ-カロテンは体の中で発生する有害な活性酸素から細胞を守り、動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病を予防する働きが期待できます。また、油と一緒に摂ることで吸収率がアップするという特徴があります。今回は大葉を使ったジェノベーゼ風のソースを紹介します。ジェノベーゼソースとはイタリアの都市「ジェノヴァ」で生まれたソースで、バジリコの葉で作られるのが一般的ですが、大葉を使うことで少しさっぱりした仕上がりになります。オリーブオイルを使用しているため、摂り過ぎには注意が必要ですが、鶏肉や白身魚、野菜といった比較的低カロリーな食材との相性が良いため、これらを取り入れることでエネルギーの摂り過ぎを防ぐことができます。

ジェノベーゼ風 バケット



材料 4人分

大葉	20枚
松の実	10g
にんにく	1/2片
パルメザンチーズ	大さじ1杯
食塩	小さじ1/3
オリーブオイル	100ml
バケット (30g程度)	8切れ
ミニトマト	4個
ベーコン	4枚
パプリカ	1/4個



作り方

- ① Aの食材をミキサーにかけ、オリーブオイルと混ぜ合わせる。
- ② ミニトマトとパプリカをスライスする。
- ③ ベーコンをフライパンで焼く。
- ④ バケットの表面に①を塗りトースターで焼く。
- ⑤ 焼きあがったらミニトマトとベーコン、パプリカをトッピングする。

栄養成分1人分

エネルギー	310kcal
たんぱく質	7.5g
脂質	17.4g
塩分	1.3g
食物繊維	2.2g

初期臨床研修医

「臨床研修指定病院」として、今年も新たに 5 名を迎えました。希望に胸を膨らませた、明日を担う若い医師たちを紹介します。

Question 3

Q.1 医師を目指したきっかけ

Q.2 研修病院に回生病院を選んだ理由

Q.3 後輩へ向けてメッセージ



加藤 次郎
(かとうじろう)

Q.1 小学生の頃からテレビの中のドクターに憧れていたのがきっかけです。卒業アルバムの将来の夢も同じでした。何とか小学生の頃の夢を叶えることが出来たので、今度はより良いドクターになれるよう頑張りたいです。

Q.2 学生時代に整形外科で 1ヶ月研修させて頂いた際に、とても優しく熱心に指導していただきました。その経験から回生病院であれば、必ず有意義な研修生活が送れると考え、選びました。

Q.3 研修病院の選択は一番長い時間を過ごす研修医室、1年上の研修医、救急当直のシステムが大事だと思います。一度見学に来てもらえれば設備の充実振りや職員の優しさ、他より早く成長できるシステムが判って貰えると思います。来てね!



結城 麻衣
(ゆうきまい)

Q.1 オーストラリアに家族旅行した時、妹が 2 週間程入院しました。当時 4 歳でしたが、不安な中、家族にも親切に接してくれる主治医の先生に憧れたのがきっかけです。

Q.2 病院見学に来た際、非常に雰囲気もよく、先生方が伸び伸びと働いている姿を見て、私もこの病院で働きたいと思いました。また、研修医室に 3,4 年目の先生もいらして、質問なども非常にしやすい環境も魅力的でした。

Q.3 出身地である三重県で医療に従事したいと思っていましたが、大学が県外で戻ってくることに少し心配がありました。今はそんな心配をする必要は全くなかったなと思うぐらい、楽しく充実した日々を送っています。



高倉 将司
(たかくらまさし)

Q.1 父が産婦人科医で小さい頃からの憧れの仕事でした。医師という職業ほど人の役に立てる仕事はないと思ったからです。

Q.2 病院見学に来たとき、先生方がとても話しやすくしっかりと指導して頂きました。

医師になる上での重要な研修医生活を鈴鹿回生病院で送りたいと思いました。

Q.3 先生方は優しくも厳しい指導があり、しっかりとした研修医生活が送れます。ぜひ一緒に鈴鹿回生病院を盛り上げていきましょう。



服部 佳生
(はっとりよしお)

Q.1 子供の頃からサッカーをしていて、何度も整形外科に受診していました。そのかかりつけ医がとても優しく頼りになる先生で、怪我をして苦しかった時に親身になって相談に乗ってくださり、こんな風に誰かを助けてあげられる仕事をしたいと思いました。

Q.2 見学の際、研修医室の雰囲気がとても良く、実際入ってみるとやはりその通りで、毎日楽しく働いています。

これから実習や見学にくる後輩達にも同じように感じてもらえるよう、自分も回生病院の明るく楽しい場所と一緒に作っていきたいです。

Q.3 鈴鹿回生病院で一番いいと思ったところは、雰囲気です。みなさんが明るく、挨拶を欠かしません。上級医の先生方もみんな優しく指導して下さいます。ここならきっと毎日楽しく研修ができるので、一緒に盛り上げましょう。



川村 賢吾
(かわむらけんご)

Q.1 学生時代に足を骨折して入院したことがありました。完治するまでお世話になった担当医との触れ合いを通じて、患者さんが再び人生を切り開く手助けが出来る職業として大きな魅力を感じました。

Q.2 見学や実習をさせて頂いた際に、各研修科が充実しており、教育熱心な病院だと感じたからです。上級医が研修医にマンツーマンで熱心に指導している姿は印象的でした。

Q.3 院内の雰囲気は良く、尊敬できる先輩方が沢山います。初めてのことだらけで最初は戸惑うことも多いかと思いますが、確実に成長できる病院だと感じています。一緒に働けることを楽しみにしています。

生命の駅伝

生命の駅伝実行委員会主催のもと癌研究を支援する目的で、生命の駅伝が三重県内各地で開催されています。5月20日(火)は名張市立病院を9時にスタートし各協力施設をまわりながら同日午後6時ごろ鈴鹿回生病院にゴールしました。当日は松島副院長をはじめ職員がゴールを見守り、患者さんにもランナーのお出迎えにご参加いただき募金箱の贈呈を行いました。



院内美化運動

5月31日(土)強い日差しが照りつける晴天の中、毎年恒例の職員による院内美化運動を実施いたしました。当日は140名程の職員が参加し花壇の除草作業や溝掃除、木々の剪定作業等を行いました。皆さん、お疲れ様でした。



鈴鹿市脳卒中市民講座

5月31日(土)、第14回となる鈴鹿市脳卒中市民講座を開催しました。当日は多数の皆さんにご参加いただき、当院からは荒木副院長をはじめ松浦神経内科部長より脳卒中に関する講演を行いました。

ほっと smile

藤澤名誉院長と麺友会

当院では5月31日(土)院内美化運動が開催されました。この院内イベントに併せて藤澤名誉院長が加入する蕎麦打ちの会である麺友会の皆様が職員の為に自慢の蕎麦打ちを披露してくださいました。皆さんプロの調理人ではなく別のお仕事をもちながら趣味で蕎麦打ちをされていますがプロ顔負けの腕前です。朝早くから準備をして200食を超えるお蕎麦を振舞っていただきました。打ち立てのお蕎麦は大変美味しく、二度三度とおかわりをするスタッフもいました。麺友会の皆様ありがとうございました。



看護の日

5月12日は、ナイチンゲール生誕に合わせた「看護の日」です。当院では、5月14日(水)に病院総合受付入り口で、「アロマ・マッサージ」「血圧測定」認定看護師による「尿失禁相談」管理栄養士による「栄養相談」を行いました。



心臓ドックはじめました!

心臓病は、年々増加しています。MRIで行う心臓ドックを受けましょう! MRIで心臓を撮影する利点は①被ばくがない→MRIは磁石の力で撮影をするため、放射線による被ばくはゼロです。②造影剤を使用しない→薬物アレルギーの方でも安心して検査が受けられます。

📞 お問い合わせは 📞

健診センター 059-375-1300 (直通)



編集後記

今回は「外来部門紹介」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院玄関)

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1

TEL059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com